

## 令和5(2023)年度 事業計画書

### 1. 第65回日本レコード大賞

日時（最終審査会及び放映）：2023年12月30日（土）17：30～（予定）

場所：新国立劇場 中劇場

過去3年間コロナ禍の状況にあり内容が変更され、賞の数や委員会の実施回数等が大幅に減少されたが、今年こそ例年通りのフル仕様でレコード大賞が開催できることを想定して予算を計上する。

TBSとの実行委員会は、6月～7月にスタートし、予定通り12月30日日本番放映に向けて本年も事業を実施する予定。

### 2. 『日本作曲家協会音楽祭・2023』

日時：2023年10月10日（火）17：00～（開演予定）

場所：北区・北とぴあ さくらホール

メインゲストは、石川さゆり、細川たかし（「特別選奨」選出歌手）、及び今年のソングコンテストグランプリの歌唱歌手である中村美律子の出演が内定している。

また、「奨励賞」を3～5組及び「ロングヒット賞」「ベストパフォーマンス賞」「ベストカラオケ賞」の3賞を選出し、それぞれの歌手への出演も依頼する。

そして今年は、当協会創立65周年記念事業『全国歌謡選手権大会』のヤング部門、一般部門、シニア部門、グランドシニア部門のグランプリ獲得者の歌唱披露も予定している。

歌の伴奏は、本年も昨年に引き続き、生演奏ではなく、カラオケで行う予定である。

この音楽祭は、BSテレビ東京にて、11月初旬の放映を予定しており、また、YouTubeの当協会公式チャンネルからも発信するため、そのための動画制作も行う。

### 3. 『ソングコンテストグランプリ・2023』

作詩募集期間：2023年1月16日～2023年3月17日

作曲募集期間：2023年4月20日～2023年6月21日

本年度は、中村美律子を歌唱歌手として作詩募集をし、その後集まった応募作品の中から選出された2作品に対して曲を付けるという形で作曲募集を行うコンテストを実施する。

グランプリとなった作品は、『日本作曲家協会・2023』のステージで歌唱披露される。

このコンテストでは、最終的に選ばれた作品をCD化をし、レコード会社から発売することも目標としており、今年は9月頃の発売を予定している。

そして、発売された作品については、原盤権をレコード会社、日本作詩家協会、所属プロダクション、当協会で共同所有するように予算化した。

#### 4. セミナー（社会福祉委員会）

- ・ 2023年7月～2024年3月 :オリジナルソングマーケット開催  
オリジナル作品発表会 1回
- ・ 2023年10月中旬 : 研修旅行会内のセミナーでアイデア募集

社会福祉委員会は、音楽を通じて福祉面での社会活動をするという位置づけで活動を行っている。

#### 5. 研修会（研修委員会）

<研修旅行会>

日時：2023年10月 実施予定

コロナ禍で中止となっていた研修旅行会を今年こそ、従来通り開催するとして予算を計上する。但し、例年90名参加を予定してきたが、今年度は、そこまでの人数の参加は難しとみて、70名で事業計画を策定した。

#### 6. 会報の発行（広報委員会）

広報委員会は、これまで通り年4回の会報を発行する。

その中では、デジタル委員会のプロモーション活動であるYoutubeによる会長、理事長の新年挨拶や、理事のインタビュー動画等を会報の紙面でも紹介し、QRコードで、すぐ視聴できるような紙面づくりを行っていく。

また、これらの広報活動は、公式ホームページとも連携を取っていくと共に、各事業の紹介、会員紹介ページなどの充実も図っていく。

<デジタルグループ>

デジタルグループは、ホームページを充実するための働きをする。

動画を作成する時は、各委員会の発注を受けて行う。